

事例 11

地域のライフラインとしても貢献する広域農道

～広域営農団地農道整備事業「邑南2期地区:日和トンネル」～

[石見町]



【地区の概要】

邑南2期
延長 5,827m(1期:14,711m)
事業期間 昭和63年度～平成12年度
(昭和50年度～平成3年度)
事業費 8,212,000千円
(4,797,000千円)
日和トンネル
延長 2,485m
(全幅6.5m・車道5.5m、
自歩道(片側)2.0m)
事業費 5,649,000千円
事業期間 平成5年度～平成9年度

邑智郡は地理的・経済的に広島県との結びつきが強く、従来から食料供給基地としての役割を担ってきましたが、河川や山峰が障壁となり農業生産団地を形成することが困難であったため、各生産団地間を結ぶ邑南地区広域農道が計画されました。

大和村～石見町間・全長20km余りの本農道のうち、冬季は積雪のため交通の難所となっていた矢上(石見町中心部)と日和間【2期地区】を、2.5kmの農道トンネル「日和トンネル」で結んでいます。

流通の合理化等農業振興はもとより、ライフライン確保の観点からも大いに活用され、地域の活性化に寄与しています。



[牛乳の出荷]

郡内で生産される牛乳は「日和高原牛乳」として広く販売されています。大型ミルクタンクローリーが巡回集乳していますが、トンネル開通前は、冬季には積雪により集荷できず、搾乳を廃棄することも多くありました。

搾乳量の推移(日和地区)

	搾乳量
開通前(H7)	1.150kl
開通後(H12)	1.300kl

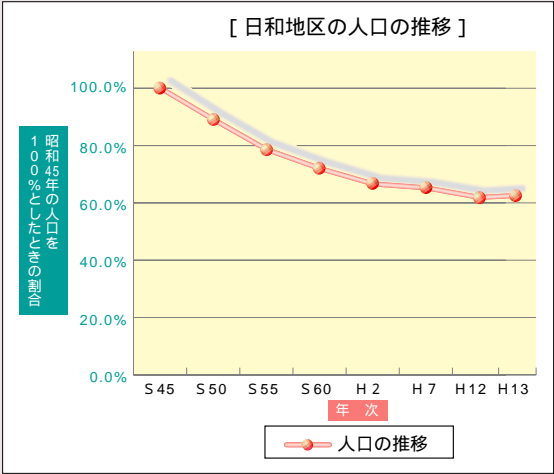


日和トンネルを利用するスクールバス

日和地内から矢上へ通う中・高生は、冬季には寄宿舎住まいを余儀なくされたが、トンネルの開通により宿舎住まいから開放されました。



年間を通じ救急医療・消防防災・福祉サービスが大幅に向上され、日和地区住民に大きな安心を築いています。



[短縮された距離と時間]

区間	日和地内 ～ 石見町役場	日和地内 ～ 香木の森公園
	距離	2km
時間	10分	11分

人口流出が続いていた日和地内においては、事業完了後の平成13年度は人口の流出傾向に歯止めが懸かりつつあります。